



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 11 月 24 日号 週刊 Vol.38(改改)
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

市長提出の決算、大差で不認定

決算特別委「市長の公約違反」「市の不正経理」が主因

11 月 11 日、市議会において決算特別委員会が開催され、西岡市長が提出した一般会計決算を、賛成 3、反対 15、退席 1 の大差で「不認定」としました。西岡市長の市政運営に対して、議会が「不合格」判定したことを意味します。

委員会における賛否の内訳は以下のとおりでした。

○賛成⇒みらい(鈴木・村山・沖浦)。

×反対⇒情報公開こがねい(渡辺大三)自民党
信頼(遠藤・湯沢・吹春)公明党(宮下・紀・小林)
共産党(板倉・水上・たゆ)こがおも(白井)こがねい
市民会議(齊藤)ネット(田頭)市民カエル(片山)
緑つながる(坂井)。

▲退席⇒改革連合(篠原)

*五十嵐議長(自民党信頼)、岸田委員長(みらい)、忌引休暇の渡辺ふき子議員(公明党)は採決に加わっていない。
*市長選出馬のために議員辞職した森戸議員(共産党)河野議員(自民党信頼)も採決に加わっていない。

反対の理由は各会派、各議員によってさまざまだとは思いますが、「西岡市長の選挙公約違反が非常に多いこと(公約しながらまったく着手していないものや、公約とは真逆な行動をとったものなど)」「市職員による不正経理によって、真正な内容の決算になっていないこと」が主な理由になっていると思います。

主な公約違反は、①「庁舎と福祉会館と図書館などを複合建築する」と公約しながら、図書館を切り離して放置していること、②「子育て環境日本一」と公約しながら、保育所待機児童発生率の多摩 26 市での順位を悪化させ、ワースト 2 位に転落したこと、③「人件費の削減」を公約しながら、職員手当の大幅アップなどで逆に大幅に人件費を増やしてしまったこと、など枚挙にいとまがありません。

西岡市長にとっては、公約は有権者を釣る「エサ」程度の認識なのではないでしょうか？

みんなの市長をつくる会こがねい

森戸よう子さんを擁立



私も役員の一人として参加している超党派の団体「みんなの市長をつくる会こがねい」は、このほど会として応援する市長選立候補予定者を決定しました。

市議会議員に連続 8 期当選し、議長、副議長、議会運営委員長などを歴任している森戸よう子市議会議員です(女性として初めて小金井市議会議長に就任したのが森戸さんです)。

森戸市議は 11 月 8 日に副議長及び市議会議員の職を辞し、11 月 12 日には出馬会見。「無所属」の立場で立候補すべく本格的に準備をスタートしました。

森戸さんとは、情報公開制度や市民参加制度の創設、庁舎建設場所の問題(直接請求による 1 万人署名運動)、子育て環境の充実(子どもの医療費助成)、財政援助団体の不正な財務会計問題など、いくつかの重要課題で長年いっしょに取り組んできました。もちろん、党が違うので異なる政策もありますが、今回の市長選の最大の争点(庁舎/道路/子育て支援/市役所のコンプライアンス)に関しては政策を共有できています。私も森戸さんの活動を応援します。

活動資金カンパのお願い

みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875

口座名 情報公開こがねい

(お振込み後、お名前とご住所をお知らせください。領収証をお送りします/外国籍の方はカンパができませんのでご注意ください)

「西岡市長には統治能力と法令遵守意識が欠如」

市議会怒る！ 賛成 19 反対 4 で「断罪」決議を可決

賛成した議員



自民党・信頼
遠藤百合子



自民党・信頼
湯沢綾子



自民党・信頼
吹春康隆



自民党・信頼
河野律子



日本共産党
森戸洋子



日本共産党
板倉真也



日本共産党
水上洋志



日本共産党
たゆ久貴



公明党
宮下誠



公明党
紀由紀子



公明党
渡辺ふき子



公明党
小林正樹



こがおも
白井亨



こがねい市民会議
斉藤康夫



情報公開こがねい
渡辺大三



改革連合
篠原ひろし



生活者ネット
田頭祐子



市民とカエル
片山かおる



緑・つながる
坂井えつ子

以上 19 議員

反対した議員

鈴木成夫
村山ひでき
岸田正義
沖浦あつし

(いずれも「みらいのこがねい」)

以上 4 議員

※五十嵐議長(自民党・信頼)は採決に加わっていない

小金市議会は、「ガバナンス(統治能力)が欠如し、コンプライアンス(法令遵守)意識に欠ける西岡市長に対する問責決議」を賛成 19・反対 4 の大差で可決しました。

西岡市長のこの 1 期 4 年間の行政執行では、市長自身の統治能力と法令遵守意識に疑問符のつく事件が多発しました。

社会福祉委員への報酬誤支給問題では、西岡市長は、監査委員や市議会に長期にわたり事実を隠ぺいし、誤った金額での支給を部下に続行させました。部下はその市長の業務指示に基づいて、虚偽公文書まで作成・行使していました。

「無法地帯」と化している市役所の正常化が市長選の大きなテーマとなります。